

十一月三日（水）

〜お遍路最終日〜



実はビール好き 先達さん



直球の性格
よしこさん



俳句大好き
つよしさん



ダジャレ王
としあきさん



「原田くんは孫です」
きくえさん



浴衣は手放せません
そとはるさん

11月3日最終日!
 名残惜しい気持ちで一杯ですが、
 悔いの無いように、この日を過ごします!

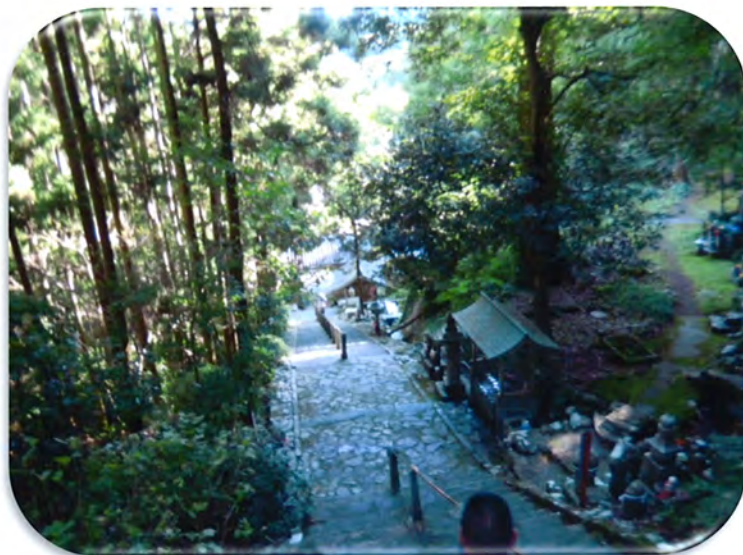
35 清滝寺
 きよたきじ



この旅で使っていたマイクロバスでは通れない細い山道を行くため、タクシーに乗り換えての移動。ここからの眺めも最高でした。



初めてのお経は息が続かず唱えるだけでも大変…。皆さんがお経を覚えていることにとっても驚きました!!
 今では言まらずスラスラ読める様になりました。



山門から170段の急な石段が続く。境内には本堂、大師堂、薬師堂が一直線に並ぶ伽藍配置になっている。



自然に囲まれてのお経は清々しく、何だか心が癒されました。
初めはおぼつかなかったお経も慣れてくるとなんのその。

“支えている”のではなく、
 “支えられている”そんな感
 じがして、
 “支え合えている”そうなりた
 いと思いました。



可愛い子猫ちゃん
 外晴さんと一緒に遊んで
 癒されました。本当に可愛
 いいんです。

「大変です...
 3うそくもう無いぞの」
 「もうかあ~
 もうそろそろ 終わり
 だからねの」
 「あ、でも
 1人かほありまよ!!」
 「じゃあ 2人でかかあかの」
 「いいんですの」
 「いいんですの」
 『 ありがとうございます! 』





31
竹林寺
ちくりんじ

“よさこい節”で歌われている、かんざしを買ったお坊さん(純信)がいたお寺でもある。

“はい、どうぞ” 慎重に線香に火をつけて、最後のお参り。



最後の読経

おんぼーちー
したー
ぼだはだめけー

祈願



実は“何でも触る”という行為は、点字を読むのにとっても大切な指先にリスクを伴うことでもあるということ。俊明さんがこっそり教えてくれました。正直なことばにとっても嬉しかったです。





全員で記念撮影。これで四泊五日の「バリアフリーお遍路八十八ヶ所霊場巡り」竹林寺で終了。人の心のやさしさに接することができ、たくさんの学びを得た研修となりました。

高知龍馬空港

いよいよお別れの時…



なごりおいしい…



いかないでー。



人との出会いの大切さを全員でかみしめながら飛行機を見送りました。



支え合、て協カレテ、共有レ、いくこと、感謝
 するこのすばらしさを今回の研修を
 通いて学ぶことが出来ました。

中山奈津

自分で感じ考え、行動して得たものは自分だけの
 財産と知りました。人との出逢いをどう活かす
 かは、自分次第だなと再認識しました。

原田卓法



とりあえず不安でした、不安で不安でたまらなかつたので、考えて、動いてまた考えている。そんな5日間でした。だからこよ楽しめたと思います。本当に幸せでした。

三原祥平

四泊五日のバリアフリーお遍路ハチハケ所靈場巡りの旅は、人の優しさ、温かさに触れるとともに、自分を見つめる貴重な時間と
 になりました。又一期一会、出合いのすばらしさを感じた5日間でした。

前田久尚



何度も何度も共に笑い、語り合うことができ、人のあたたかさ、人の強さを感じました。そして、命を預かる責任も強く感じ、そのことを通して支え合い、励まし合う喜びを味わうことができました。自然のおごさにも触れ、私たち 30 は生かされてもっていることを実感しました。この旅に、出会いに感謝します。

益子清意